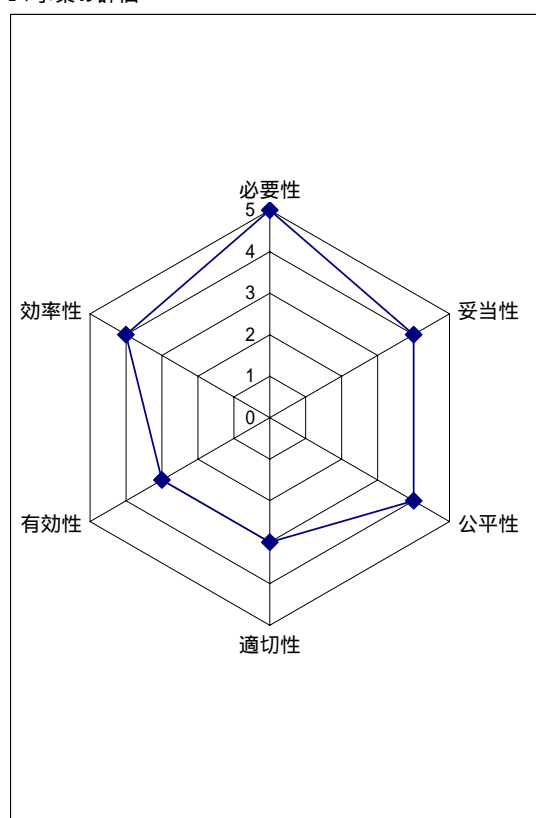


事務事業名	結城市観光協会補助事業	担当部局	市長部局 産業経済部
基本目標	豊かな暮らしを育む活力ある産業づくり(産業)	担当課名	商工観光課
施策体系	豊かなふれあいとにぎわいのある商業・観光の振興	担当係名	観光係
施策	その他		

1. 事業内容

事業本来の目的と具体的内容	各種イベントの開催を通し、観光誘客を図り、観光の振興と地域の活性化に寄与するとともに、市民一人ひとりが地域とのつながりを実感できる街づくり事業を展開することを目的とする。		
事業の期間(開始/終了)	昭和46年 9月/ 年 月		
根拠法令、条例、規則など	事業補助交付要項		
事業が対象としている人(モノ)	結城市観光協会会員		
具体的な活動内容	協会組織の運営、各種広告宣伝活動を行う。		
	さくら祭りの実施、盆踊り大会・市民まつりの支援。		
	物産品・特産品のPR、優良産品審査会の実施。		
	協会の新規開拓。		
事業の成果	伝統行事を次世代に継承し、三世代の交流の場を提供できる。		
	入込客数。		

2. 事業の評価



項目	説明
必要性	5 ますます必要性は高くなっている
	観光の振興は地場産業への波及効果をもたらす、地域経済発展のための重要な手段である。そのため、会員と今まで以上に観光事業への積極的な展開を図ることが重要であり、それを担う組織として観光協会事業への支援は必要である。
妥当性	4 法的な問題などがあり、行政が行うべき事業である
	市民が積極的に観光客を受け入れ官民一体の観光まちづくりを進めるうえで、結城市観光協会の果たす役割は今後重要となる。
公平性	4 目的とした対象者に対しては、概ね広く便益を提供している
	協会が関係する発注・委託業務等に関しては、協会員から見積りを徴していることから、公平性は保たれている。
適切性	3 どちらとも言えない
	組織運営において会員の主体的な参加が欠かせない。会員の主体的な参加ができる組織体制の確立など改善が必要である。
有効性	3 どちらとも言えない
	観光大使による観光PR活動など観光誘客を行っており、年々観光客は増加しているが、受け入れ態勢ができていない。今後商店や関係団体と協力し、地元の賑わいと活力を取り戻していくうえで観光協会は有効な組織である。
効率性	4 効率は徐々に高まっている(コストは徐々に下げられている)
	コスト効率については、各祭事も依頼出演から市民参加型イベントに移行し、出演者謝礼の支出を抑えることができた。人員効率については、平成18年度に協会組織の見直しを行い、事業部会中心の運営方式となるため、行政側の人員効率は徐々に下げられると考える。

総合評価	中堅観光都市としての地位を確立するべく、「おもてなしの心」でお客様をお迎えすることが定着したといえる。しかしながら、既存の観光資源を有効にPRすること、物産協会と協力し目玉となる観光土産の開発が今後の課題である。さらに、本協会の組織の見直し、役員を少数化し役割の明確化、3つの部会活動の活性化が重要である。
------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

3. 今後の事業の方向性

所属長判断	事業の方向性判断	短期的方向	維持継続	中長期的方向	維持継続
	説明	観光協会の支援は必要と考えられる。本年度より協会の体制づくりとして部会の強化が図られており、今後は他市町村の状況を参考に自立できる組織体制を検討する必要がある。			
決定権者判断	決定内容	維持継続			
	説明	観光事業の推進は引き続き積極的に支援する必要があるが、観光協会の自立も促していく。			